

令和6年度 林業普及週間現地情報（6/24～6/28）

森林管理課

造林地調査（施肥試験地の設置）

6月27日（木）

令和6年6月5日（水）～6日（木）に宮古島市みどり推進課、宮古森林組合、森林資源研究センターおよび宮古農林水産振興センターで宮古島市造林地において、Ⅱ齢級以上の人工林における適齢施肥量を把握するための試験地設置を行った。

現在、人工造林を行った際は、対象木を保育し、雑草等の競争に負けないよう成長を促すために、緩効性肥料（IB ワンス）を施肥している。しかし、本県における広葉樹への適正な施肥量については試験データが少ないため、保育作業時における対象木の成長量とコストの両面から適正な施肥量を把握することを目的とし、宮古島市の2箇所の造林地にそれぞれ2つの試験地を設置した。

試験地は令和4年度植栽のテリハボク造林地、令和元年度植栽のイヌマキ造林地に設置した。両対象木は宮古島市において近年多く植栽されており、木材としても古くから利用されていることから、今後も造林されることを見込み選定した。試験地を3区画に分け、現行区（現行の施肥量）、半減区（現行から半量）、無施肥区、とし、その後の成長量を記録していくこととした。

また、6月27日（木）に開催された宮古林業研究会において、本試験のことを発表し、宮古林業研究会員とも情報共有を行った。

